

呑川の会とは

1996年(平成8年)夏、大田区社会教育課企画発案講座「呑川から東京の川を考える」講座に申込み・講座に参加した人たちが、中心に、その後も、定期的に勉強会・研究会を継続したいと考え、区役所職員だった榊原氏の後ろ盾を頂きながら、大坪氏、増田氏、山本氏、などが団体を立ち上げました。

学校教諭であった初代代表(当時は会長)大坪氏は、1.「歴史教育者協議会」の中心的メンバーでもあり、この団体会員への広報啓蒙活動に現在でも尽力し続けています。

また、増田氏は、リトルターン(コアジサシ)プロジェクトに尽力され、森が崎水再生センター(旧下水処理場)屋上に、コアジサシが営巣し繁殖できる様、様々な、試みを提案・実行し、これらの活動は、マスコミにも取り上げられ報道されました。大田区(環境保全課)としても、いろいろな協力・支援をこの団体に行っています。区民にも営巣場の清掃や手入れ作業に便宜を与えています。

また、ちょうどその頃、夫婦橋付近が整備され、その右岸に広がる護岸に地震や大災害用の船着き場建設構想が実現しようとしていました。大田区南蒲田1丁目地先の現地では、船着き場とその後背地を公園化し区民の憩いの場とすべく運動する人々も多くおりました。その運動の中で中心的役割を果たしていたのが、2.「呑川の環境を考える会」の山本理平氏でした。

武富氏・清水氏もそれぞれ、お住まいの町会・自治会の役員として、この運動にかかわっていました。また、西蒲田の双流橋のたもと呑川眼前在住の折戸氏は、戦後すぐに目黒区から当地に引っ越して来て、戦後のこの川の変化を毎日観察し・体験し、清流が徐々に汚染されてゆく様を見ていました。1990年代頃には、梅雨時など季節によっては、悪臭で夜も寝てられない、などの体験をされています。

西蒲田の上流である、池上町でも、町会・自治会・本門寺分寺である養源寺等呑川沿いの住民が立ち上がり作った団体 **3.「池上自然観察会」**も、すっかり汚染され汚濁してしまった呑川を元の綺麗な川に戻せないかと、種々活動していました。

更に、健全な青少年育成を旗頭に、運動する団体 **4.「非行の無い明るい街づくり池上地区」**も、協力して自分たちの街を住みよく・綺麗にしようと活動していました。

現在では、池上地区、町会・自治会連合会の幹部として、現呑川の会副代表**白石氏**がこの地区の安全・安心のため活動しています。

また、呑川との兄弟都市河川である「内川」も河川汚染・悪臭・ゴミ問題で内川周辺住民が悩んで、河川管理者である東京都建設局河川部と **5.「内川をよみがえらせる会」**を通じ、問題解決に向けて活動をしていました。その後、「内川連絡協議会」へと発展しました。

大田区社会教育課発案の際に、地元密着型堅持誌であり・成長期の子供を持つ女性を読者とする方針の、**6.「城南タイム誌」**代表十河（そごう）氏にも参加打診があり、この講座に参加されていました。現代表十河恒憲氏、編集主管与倉英雄氏は、現在共に、呑川の会会員です。

これら **6 つ**の団体の会員が中心になって、**1997年(平成9年)5月8日**、呑川の会設立総会開催の運びとなりました。

2013年4月現在では、2006年に設立された、生活協同組合関係団体又はその下部組織・団体が呑川の西蒲田地区の悪臭問題・ゴミ問題解決を中心目的にした「呑川流域ネットワーク連絡協議会」(略称＝呑川ネット)を設立しています。

呑川の会もその加盟団体の一つです。

呑川の会活動の記録

1997年

5月 8日 呑川の会設立総会 池上会館にて
規約、役員、活動計画決定

5月22日 役員会 池上文化センター
爆気(ばっき)装置について

呑川情報交流 年間行事計画作成

6月29日 呑川改修見学会と学習会
あわせて久が原の湧水見学
東京都第二建設事務所より職員をお呼びして学習
改修箇所の見学 約20名参加

7月23日 役員会 下流のばっ気装置について
ユスリカについて

大田区と東京都にたいし資料提供を求める「おたずね」
を出すことにした。

呑川の水質・生物資料および環境改善計画資料の提供
について後日回答がくる。

9月11日 役員会 呑川の会の看板について
ユスリカに対する薬剤散布について
内川見学会について

10月24日 呑川学習会 養源寺にて 18人参加
副会長より看板のイラスト原案がだされた。

会員より「生命はぐくむ呑川を ユスリカ問題から東京の中小河川の問題と『呑川』の可能性をさぐる」の学習資料が出される。

「呑川の環境を考える会」の会員さんより「夫婦橋公園」が建設されることになったこと、公園づくりについての試案が出された。

11月 9日 内川見学会（区の主催講座）会員から5名参加
参加者会員より報告

12月 4日 役員会 看板の作成について
ユスリカの発生と薬剤散布・藻の除去の件
夫婦橋公園について
大田区都市計画マスタープランへの意見書提出
財政について ニュース作成について

12月20日 「呑川の会ニュース」第1号発行

1998年

1月 9日 呑川の会の看板 池上養源寺に設置が決まったこと、看板
原案
について話し合う
事務局で当面对応

4月 日 「呑川の会ニュース」第2号発行

4月21日 学習会 「環境ホルモンについて」
横浜市立大学 井口泰泉先生を招く 49人参加

5月20日 都知事と語るつどい「青島さんへわたしも一言」の集会に大田区より話があり会長が出席、呑川の環境問題について発言しました。

都は「循環型社会づくりのための行動計画」をこの秋に出すことになっているそうです。

5月21日 役員会

5月27日 98年度総会

7月2日 夫婦橋公園現地説明会(3名参加)

7月14日 学習会「本年度の呑川改修計画について」(都第二建設事務所職員)

8月1日 O会員から数度にわたり呑川水質異変情報

9月1日 ホームページ開設

9月11日 養源寺さんへ看板設置についておねがい

9月19日 学習会 呑川の水質について(日本工学院・猪口先生)

10月4日 目黒川見学(大崎広小路から中目黒まで)

10月25日 タウン誌「おとなりさん」に呑川の会紹介記事掲載。

10月25日 夫婦橋児童遊園着工

1999年

- 1月22日 夫婦橋公園現地説明会(4名参加)
- 3月30日 環境フェア説明会(代表派遣)
- 4月3日 多摩川台公園自然観察会(桜・丸子川・多摩川河川敷)
- 5月18日 環境フェア説明会(代表派遣)
- 5月22日 1999年度総会
- 6月5日 環境フェア 会員全体参加
- 10月9日 三番瀬見学会

2000年

- 1月13日 西暦2000年の多摩川を記録する運動説明会 協力参加
- 1月23日 西暦2000年の多摩川を記録する運動(試行)協力参加
- 3月7日 大田区役所ロビーにて環境4団体ロビー展示
- 3月18日 大田区区民大学シンポジウム「いのちの棲むところ」代表派遣
- 4月2日 呑川親水公園(桜新町)見学会
- 4月23日 西暦2000年の多摩川を記録する運動・1 協力参加
- 6月3日 呑川の会2000年度総会

- 7月23日 西暦2000年の多摩川を記録する運動・2 協力参加
- 9月3日 野川(下流域・世田谷区)見学会
- 9月15日 呑川一斉調査(第1回)スタート
- 9月23日 西暦2000年の多摩川を記録する運動・3 協力参加
- 10月7日 汽水域セミナー「汽水域の環境復元をめざして」参加
- 12月9日 大田区環境部主催「環境フェア・地球環境展」参加
- 12月15日 呑川一斉調査(第2回)実施 14地点、のべ23人参加

2001年

- 1月28日 西暦2000年の多摩川を記録する運動・最終回 協力参加
- 3月 学習会「山道省三さんと、わいわい川談義」予定
- 4月 河口、下流域、旧呑川緑道見学(花見もかねて)予定

これ以降の活動については、呑川の会会報「のみがわ」にて、ご覧いただけます。